

給食センター 運営審議会だより

令和5(2023)年 8月25日

運営審議会会長：山上 真哉

記録担当：八小・一中

印刷担当：金城

令和4(2022)年度 第6回 国立市立学校給食センター運営審議会

日 時：令和5年6月22日(木) 午後2時～3時

場 所：国立市立学校第一給食センター会議室

委 員：出席13名

事務局：3名(土方給食センター所長、宮本主査、久保主査) ※敬称略

議題 (1) 事業報告について(資料1-1,1-2,1-3,1-4,1-5)

(2) 令和4年度学校給食費決算報告について(資料2)

(3) 令和4年度事業総括について(資料3)

(4) その他



議事録及び資料は
市のwebサイトで

議題(1) 事業報告について

➤ 事務局より前回会議以降(2/22から6/22まで)の主な事業の報告がありました。(資料1-1)より抜粋

2/28 教育支援室さくら(中)への試験的給食提供

3/22 3学期小学校給食最終日(第一給食センター)

3/23 3学期中学校給食最終日(第二給食センター)

4/10 1学期小学校給食開始日(第一給食センター)

4/11 1学期中学校給食開始日(第二給食センター)

4/27 多摩地区共同調理場連絡協議会総会及び場長会へ出席

5/18 多摩地区共同調理場連絡協議会給食運営管理研究部会へ出席

6/14 令和4年度給食費決算監査

➤ 事務局より外部検査機関による放射能測定結果についての報告がありました。(資料1-2から1-5)

- 3月から6月使用分の給食物資の予定産地と地場野菜の使用予定日も、同資料に記載。
- この期間の放射能測定結果は、いずれも不検出(検出限界値未満)。

議題(2) 令和4年度学校給食費決算報告について

➤ 事務局より令和4年度学校給食費決算について報告がありました。

➤ 会計監査委員より監査報告がありました。

- 6月14日(水)10:00より第一給食センター会議室において監査実施。
- 令和4年度学校給食費収支状況について帳簿及び預金通帳等照合の結果、適正な処理を認めた。

(資料2) 令和4年度学校給食費決算報告書より(一部抜粋)

収 入

(単位:円)

区分	調定額	不能欠損額	収入額	未収入額	摘要
給食費	248,169,866	960,486	238,946,536	8,262,844	収納率 96.28%
現年度給食費	239,752,445	0	238,444,087	1,308,358	収納率 99.45%
過年度給食費	8,417,421	960,486	502,449	6,954,486	収納率 5.97%
前年度繰越金	4,776,793	0	4,776,793	0	
雑入	74,646	0	74,646	0	廃油売却収入 等
補助金	19,910,000	0	19,910,000	0	学校給食費物価高騰対応補助金 7月交付 10768000円 1月交付 9142000円
合計	272,931,305	960,486	263,707,975	8,262,844	

支出

(単位:円)

区分	支出額	摘要
主食購入代	31,393,802	内訳は資料2参照
副食購入代	164,977,006	〃
牛乳購入代	50,506,685	〃
調味料購入代	9,335,705	〃
合計	256,213,198	

合計

(単位:円)

収入合計	263,707,975
支出合計	256,213,198
差引残額	7,494,777

議題(3) 令和4年度事業総括について

➤ 事務局より令和4年度事業総括について前年度との違い等の報告がありました。(資料3)より抜粋

1. 食の安全安心の確保

(1) 良好、安全な食材の調達

④地場野菜の取入れを引き続き推進。

(令和4年度) : 19,779.3kg (野菜全体使用量の 18.24%)

※参考(令和3年度) : 18,963.0kg (野菜全体使用量の 18.23%) 0.01 ポイントの微増とほぼ横ばい。

(2) 放射能への対応

・放射能検査などを実施し、良好で安全な給食の提供に努めた。

(3) 給食の充実

⑤「エコール辻東京」及び「くにたち図書館」とのコラボ給食を企画・実施。

→令和5年度以降も、各方面の方々とコラボ給食を継続計画していきたい。

⑧未就学児とその家族向けの試食会を企画・実施(7回実施 試食者数 70名)。

→今後も給食への不安の払拭や楽しみにしてもらうため、継続実施していきたい。

⑨「くにたち食育推進・給食ステーション」開設を鑑み、地場農産物活用促進のため、市内若手農家がメンバーである「NPO法人『くにたち農里MEM』」と新規参入に向けた協議を進めた。

(4) 食物アレルギーへの対応

・令和5年度第2学期から始まるアレルギー等対応食に向けて、「国立市学校給食食物アレルギー等対応検討協議会」を立ち上げた。

→学校側は、校長会、副校長会、給食主任会、保健主任会の各代表がメンバー。

(5) 衛生管理の徹底

2. 食育の推進

(1) 食に関する理解の促進

・献立メモ等の情報提供に努めた。「くにたちの学校給食食育ビジョン」を策定。

(2) 学校との連携

・現給食センター最後の年度なので、学校に児童生徒センター見学の積極的な企画を推奨した。

→校長先生の協力のもと多くの学校で見学を実施、初めて特別支援学級の生徒も訪問。

※今後の課題

2学期から「くにたち食育推進・給食ステーション」で給食提供が開始されることを鑑み、現給食センターからの円滑な業務移行と、良好で安定した給食提供を保持できるよう万全を期すこととする。

【委員からの主な質問や意見】

質問1 前回、異物混入が頻発した時期があったが、その後ヒヤリ・ハット報告など対策を立てた結果今回の事業報告期間で1回も異物混入なしと成果として得られたのか。

回答1 前回の会議も踏まえ、ヒヤリ・ハットも含め調理員にはさらなる注意喚起を図った。異物混入はなかったが、実際はヒヤリ・ハットで調理上の段階で異物を発見する等未然に防いでいることはあった。しっかり調理員が見ており調理後も配食の際も丁寧に見ていた結果なかったという認識。

議題（4）その他

【委員からの主な質問や意見】

質問1 多摩地区水道水のPFOSの件、給食センターで何か対策をする予定は。保護者としては不安な状況。

回答1 国立産の野菜は一部畑に水道を引いている場合もあるが、基本的に雨水で育てている。水道水については議会で答弁もした。水道水は河川と地下水が混ざっているが、東京都水道局が令和2年度に水源のPFASの検査をして、基準値より高かった場合は使用を中止している。そのため、今水源に使っているところはPFASの基準値を下回っているという認識。水道水は定期的に東京都水道局が検査をしており、今のところ国立に限らず東京都全体で基準値を上回ったところはないと聞いている。全国農産物に関しては、農産物を調べる基準値がまだ国で明確に持っていないため今後の動向を見守ってきたい。今のところ国立市独自で調べるというような認識は、給食に限らず、ない。

質問2 給食センター通信に2学期より食物アレルギー等対応食提供開始とあるが周知されているのか。牛乳と卵を除去している子には代わるものを提供するということか。

- 回答2 給食センター通信は全保護者に配っている。一部代替食、例えばスープや主菜が乳・卵の場合は代替食。デザートや飲料は除去から始める。一定期間安定的に供給ができれば、代替を増やす予定。
- 質問3 三大食物アレルギーが一番多いのは鶏卵、牛乳、その次は小麦だが、小麦の代替はやらないのか。今、ナッツアレルギーが非常に増えていて重篤なアレルギーを起こしやすいのだがどうお考えか。
- 回答3 小麦はやる予定はない、市内に小麦のアレルギーの子がそんなに多くなくて、むしろエビとかカニとかのほうが多いので、必要のある食品を対象にしていこうと思っている。また、国立市の学校給食では、特定原材料8品目のうち、そば、落花生、くるみ、特定原材料に準ずる20品目のうち、アーモンド、いくら、カシューナッツ、キウイは使用しない。
- 質問4 学校給食センターがきちっとやっても、校外学習はどうか。これは学校サイドの問題か。
- 回答4 今、給食センターで学校給食に係るアレルギー対応関係のマニュアルを作っており、教育総務課で教員が使う食物アレルギー全般のマニュアルも改定中で夏ぐらいに完成予定。そこにエピペンの使い方や校外学習のときの対処法等も載っていて、学校の教員に周知し教育指導支援課で研修もする。また、エピペン使用の講習会も開いている。
- 質問5 コオロギ食について、給食に入ってくることはあるか。
- 回答5 コオロギ食については、全く考えていない。
- 質問6 デザートや飲料は除去から始めて、一定期間安定供給が見込めたら、徐々にということだったが、この一定期間は具体的にどのくらい。
- 回答6 良好に安定的に供給できた場合、一応私たちとしては、3学期を目標にと思っている。
- 質問7 除去食は栄養の部分で足りているか心配。除去の代わりに出す何かプランはあるか。例えば牛乳を除去したらカルシウムが足りないためかわりに小魚を出すとか、別の形で補うみたいなのはないのか。
- 回答7 飲料やデザートは除去するので、代わるものは初めのうちは出す予定はない。ただ、おかずについては、代替のものを出すので、皆さんと近い栄養価になるかと思う。例えばスープの中に乳や卵が入っているという場合には、新しい給食センターはABラインあるので、Bラインに入っていてAラインに入っていないという可能性もあるので、AラインのものをBラインの方に出して栄養価が保たれるという形でやっていきたい。また、牛乳除去の考え方と、アレルギー等対応食の考え方が別になってくる。牛乳を飲まなかったから、その足りない分の栄養をどこかでという考え方は、今はない。その他については、これから安定的に供給ができた3学期を目標に取り組んでいこうと思っている。
- 質問8 新センターに移った後、この会議はどこで行われるのか。
- 回答8 新年度の給食センター審議委員会は、この建物が7月いっぱいまであるので、第1回目はこちらで開催する。第2回目以降は、新しい給食センターで開催する。
- 質問9 新センターに設置したソーラーパネルについて、今現在コンセント1個分ぐらいしか電力を賄えないということだが、今後は増やしていく予定はあるか。
- 回答9 担当が違うが、今後ソーラーパネルを増やすという話は聞いていない。現状屋上面積のフルで置いている。当然ソーラーパネル値段もかかる、それらも含めてPFIで金額予算を組んでいる。

最後に今年度の審議委員から感想と挨拶を述べ閉会となりました。これで今年度の委員会は終了となります。一年間ありがとうございました。